

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市営駐車場
指定管理者	テルウェル西日本株式会社
指 定期 間	平成 27 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで
施設所管課	総務部 管財契約課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
総出庫台数（台数）	288,544	289,130	昨年度と変わらず市民会館や市のイベントについては充実しているものの、総出庫台数は 586 件の減少、用務来庁者数 1,500 件増加、一般利用者数は 2,086 件の減少となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	27,826,298	28,638,691	
（うち指定管理料）	27,826,298	28,638,691	指定管理者の提案による
（うち利用料金）	—	—	
支出金額（円）	27,826,298	28,638,691	

3 自己評価

自己評価コメント	毎日の巡回点検により、不良不安全箇所を早期に発見するとともに、直ちに対処できるものについては、管理員が対処しているが、例えば、3階から4階へのスロープの鳥害防止ネットの垂れ下がりなどお客様の安全に関する内容については、一時対応を早期に行い、本修繕等を加古川市様報告し修繕するなど取り組んだ。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の運営については、概ね事業計画書どおりに実行できたため、良好といえる。現場スタッフも、近隣施設のイベント情報などを事前に収集することで、突発的な混雑・混乱が生じないよう工夫がなされている。また、引き続き無料 Wi-Fi 設備も設置されており、サービスの充実にも努めることができている。
利用状況に対する評価	場内案内の強化など、混雑時等における利用者の安全確保に努めることができている。ゆずりあい駐車場の路面表示サインについても、視覚的に利用者に分かりやすく、ゆずりあい駐車場スペースの周知につながっている。

自主（指定）事業 に対する評価	実施する事業なし
施設維持に対する 評価	清掃、剪定、修繕など適正に実施し、良好な維持管理ができています。
収支状況に対する 評価	指定管理料の範囲内で支出がまかなえており、問題はない。
総合評価	マニュアルの整理や業務引継において改善の余地はあるが、概ね良好といえる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市斎場
指定管理者	株式会社 五輪
指 定期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	市民部 市民課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
人体受付件数（件）	2,512	2,522	減少しましたが、高齢化社会の為今後増加すると思われます。
小動物受付件数（件）	1,851	1,886	減少しましたが、愛犬家は多く今後増加すると思われます。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	86,109,502	83,842,993	自主事業収入含む。
（うち指定管理料）	84,958,342	83,842,853	自主事業収入は含まず。 委託費アップに伴う増額提案
（うち利用料金）	—	—	
支出金額（円）	85,142,356	82,657,246	委託費の金額アップの 為支出増

3 自己評価

自己評価コメント	継続的な改善に取り組むことができた。今後も、継続を図りより良い施設運営が行えるよう励んでまいります。 平成 29 年度から定期のモニタリングを必ず実施しており、問題の共有、情報の共有を行い利用者サービスの向上を図れている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	・トイレに鞆掛けフックを設置する等、利用者に寄り添った運営ができている。 ・葬祭業者及び霊柩車の運行事業者と連絡調整を行うことで、配車漏れを防止し、安定した火葬業務が実施できている。
利用状況に対する評価	・火葬件数は、昨年と比較して 10 件減少したが、今後も超高齢社会の影響等により、増加していくと想定している。施設が老朽化している中で、安定的な火葬が提供できるように、火葬炉の保守点検や火葬の運営体制が効率的に実施できている。

自主（指定）事業 に対する評価	・今年度より喫茶、売店、自動販売機の委託を実施している。来場者数の減少により喫茶利用者が減っているが、軽食メニューの充実を図る等、利用者の満足につながるようお願いしたい。
施設維持に対する 評価	・修繕は優先順位をつけ、計画的に実施されている。 ・危険回避のため、駐車場の通路の確保や、寺院駐車場の白線の引きなおし等、できることから環境の整備を行っている。
収支状況に対する 評価	・効率的な火葬運営を実施し、経費削減に努めているが、超高齢社会を迎え、今後も火葬件数の増加が見込まれるため、より効率的な火葬業務の運営への研鑽をお願いしたい。
総合評価	・施設の老朽化が進んでいる中で、施設の管理、設備のメンテナンス等十分実施されており、利用者に寄り添った、きめ細やかな対応等も評価している。 ・利用者からの声については、月に1回のアンケート報告とともに、必要なものについては、随時報告がされている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市民会館
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
指 定期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	218,126	208,973	5月、8月に大型の催しがあったことで、3月に新型コロナウイルス感染防止を理由としたキャンセルが集中したにも関わらず、前年度を超える結果となった。
施設稼働率（%）	45	48	第1四半期 47%、第2四半期 49%、第3四半期 48%と前年度並みの稼働率で推移していたが、第4四半期は新型コロナウイルス感染防止を理由としキャンセルが3月頃より集中し38%と低迷した。結果、年間でも前年度を下回った。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	141,263,626	143,956,369	
（うち指定管理料）	96,191,000	100,507,419	
（うち利用料金）	30,916,394	32,896,232	2月迄前年度ペースで推移していたが、3月に新型コロナウイルス感染症流行による利用自粛が集中し前年度実績に届かなかった。
（うちその他）	14,156,232	10,552,718	
支出金額（円）	136,684,204	144,761,101	

3 自己評価

自己評価コメント	（会館施設利用） 2月迄利用者数・稼働率ともに予算を上回るペースで進行していたが3月に新型コロナウイルス感染防止を理由とした貸館のキャンセルが集中し稼働率は前年度を下回ったが、利用者数は前年度比 104.4%と上回ることができた。 ホール利用では、夏季に3年毎の東播吹奏楽コンクールとその練習利用が入り、利用率および利用者数を上げる要因の一つとなった。他
----------	--

	にも本年度は播磨臨海地域道路整備促進大会や PTA 全国大会など大型の催しが開催された。会議室・多目的室などの諸室は毎年利用が増えている。特に多目的室では展示販売目的の利用が定着している。 (会館実施事業) ~中止・延期事業~ 本年度は指定事業 6 本と、自主事業 14 本を実施した。 指定事業では新型コロナウイルス感染症対策による自粛要請を受け、演劇・歌劇事業「劇団かかし座 影絵劇長靴をはいた猫」、クラシック音楽鑑賞事業「兵ブラストリオリサイタル」、講演会事業「加古川市民大学講座 田中ウルヴェ講演会」の 3 事業を次年度に延期した。自主事業では、「こども Lab シリーズ 影絵あそびのワークショップ」を次年度延期、「地域連携プログラム アウトリーチ」を中止とすることになった。 ~実施事業~ 指定事業「第 30 回 せせらぎコンサート」の参加者数は毎年安定しており、地元の音楽家を支援する場として定着している。今後は新しい層の参加者掘り起こしが課題であるため、出演者と連携の上、様々な取り組みを試みたい。「伝統芸能事業 特選東西落語名人会」は江戸・上方それぞれの著名噺家が集った内容が評価され、大ホールがほぼ満席となった。加古川市民大学講座 松田丈志講演会」は参加者数が目標に届かず、有料の講演集客に課題を残す結果となった。 自主事業では、「地域連携プログラム アウトリーチ」が中止となったが、その他の事業は予定通り実施することが出来た。市内および近隣市町村から参加者が集まる地域連携プログラム「加古川文化フェスティバル」では、これまでの中ホールでの舞台発表に加え、本年度から小ホールにおいて地元市民作家の手作りマルシェを同時開催した。これにより「観る・味わう・体験する」を同時に楽しんでもいただけるイベントとなり、多くの参加者を集める事につながった。「プレミアムコンサート in 加古川」では、「May J.」「小椋佳」「AI」など歌唱力に高い定評がある著名アーティストを招き、市内外からの来場者を集める事が出来た。アンケートではこれらの著名アーティストの公演を喜ぶ声が多く寄せられた。 (経費削減) 本年度も経費削減への取り組みを実施。特に暖房時期にセントラル冷暖房システムを効率よく運転して経費削減につなげた。さらに新型コロナウイルス感染症対策による利用自粛によって利用が減少し、結果的に光熱水費を予算に対して 10.8%削減した。
--	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の運営や維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき実施された。アンケートや提案箱の設置等により、利用者のニーズを受け業務改善、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	施設利用者数は前年度実績を上回ったが、利用料金、稼働率については前年度実績を下回っている。また、目標値については全項目で下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、3月に利用キャンセルが相次いだことが原因と考えられる。
自主（指定）事業に対する評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、指定事業、自主事業合わせて5事業が中止又は延期となったが、それ以外の事業については問題なく実施できている。事業内容では、全国的に著名な人物のコンサート等を加古川市で行い市民が楽しむ機会を作った。また、若年層と中高年層のニーズに合った事業をバランスよく実施しており、文化発信の場として充実した事業を展開していると評価できる。今後も新たな市民ニーズを掘り起こした新規事業について期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃、植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費共に指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	指定事業は支出超過、自主事業は収入超過、収支全体としては収入超過という結果となり、ほぼ計画通りに予算を執行している。また、空調運転の効率化により、光熱水費の削減に努めた。
総合評価	多くの事業で目標値を上回るまたは目標値に近い参加者を集めたことや、今年度については、鶴林寺を使用したフリースペルコンサートといった目新しい事業を行い、市民から多くの反響があり好評であったことは評価できる。今後は、利用者数、利用料金収入について目標値を達成できるように次年度からも利用者ニーズを掴んださらなる事業展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川総合文化センター
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	151,125	155,040	前指定管理者が例年実施していた大型事業が無くなった為、美術ギャラリー及びプラネタリウムが各 8 千人の減、宇宙科学館・博物館は無料化によって合計 9 千人の増、コミュニティ施設は大型事業の実施等により 3 千人の増となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	138,421,207	137,111,717	
（うち指定管理料）	97,091,908	98,539,000	
（うち利用料金）	25,711,064	27,617,374	
（うちその他）	15,618,235	10,955,343	
支出金額（円）	133,228,892	137,562,068	

3 自己評価

自己評価コメント	貸館については当初、鍵の対面受渡など利用方法の変更にお客様の戸惑いも見られたが、丁寧に対応し理解を求めた。また本年度より博物館、宇宙科学館の無料化を行い、入場者を大幅に増やすことができた。 新型コロナウイルス感染防止を理由とした利用自粛が 3 月に発生し、年間の利用料収入、稼働率ともに目標値を下回る結果となった。次年度以降も衛生管理を徹底するなど新型コロナウイルスの感染予防対策を十分に講じ、お客様へ安心・安全な施設を提供できるよう管理運営に努める。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	今年度よりケイミックスパブリックビジネスが指定管理者となったが、前指定管理者より円滑に業務を引き継ぎ運営できている。また、事業実施計画に基づいた特色ある事業を行うことができている。
----------------	--

利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症の影響等により、稼働率、利用料金収入は目標値を下回ったが、利用者数については、宇宙科学館及び博物館の無料化により、目標値を上回る結果となった。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業、自主事業共に参加者数が目標値を下回っている事業については、参加者獲得にあたっての工夫が必要である。施設の特徴であるプラネタリウムを用いた事業を数多く行っている。また、市と連携し、加古川ソーデーマーチの通過点として事業を行い、ソーデーマーチの賑わい創出へ寄与したことは評価できる。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を予算執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	指定事業の企画美術展及び総文ビッグフェスタの支出超過が目立つが、当初計画よりは支出を大幅に抑えられている。指定事業、自主事業ともに支出超過ではあるが、収支全体としては収入超過という結果となり、ほぼ計画通りに予算を執行している。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入をほぼ予算の範囲内で適切に実施できている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき、管理運営等について良好に遂行することができた。今後は、事業参加者数、稼働率、利用料金収入について目標値を達成できるよう、次年度からも利用者ニーズを掴んださらなる事業展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立松風ギャラリー
指定管理者	加古川市美術協会
指 定期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	21,392	24,870	2・3月は感染症の影響により減少。
稼働率（%）	53	56	同上の理由

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	21,218,945	20,743,792	
（うち指定管理料）	18,636,874	17,360,627	
（うち利用料金）	2,300,995	2,560,260	感染症でキャンセル続く
（うちその他）	281,076	822,905	
支出金額（円）	19,600,675	20,018,566	

3 自己評価

自己評価コメント	これまでの利用者が高齢化に伴って展覧会の実施が困難になってきている状況が生まれている。その結果、利用空白期を埋めるべく所蔵作品展を急遽開催することが多くなった。収蔵庫のスペースの限界から新規に収蔵することができないなか、展示にいかにも新鮮味を出していくか職員の知恵をめぐらせている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	地域の文化団体とのネットワークをもった指定管理者が地域に密着したサービスを提供した。特に市内で活躍する作家の美術展や音楽団体のコンサートを行うことにより、地元加古川の芸術文化の振興に寄与した。
利用状況に対する評価	利用者数、稼働率ともに、前年度を下回った。新型コロナウイルス感染症予防のため、施設の利用控えが影響したものと思われる。前年度から引き続き1階の展示室の貸館状況に応じて、可能な限り事業を組み入れたことは評価できる。

自主（指定）事業 に対する評価	自主事業として、指定管理者主催事業である美術協会部門別会員展（日本画、洋画、書道、写真、彫塑・工芸）を開催しており、指定管理者のノウハウとネットワークを生かした事業展開ができています。また、指定事業においては、多様な企画展を開催しており、チラシ等で利用者へ積極的に周知を行うなど、利用者数増加に向けて努力した点は評価できる。
施設維持に対する 評価	定期的な館内清掃・点検を実施。また、早期に必要な修繕を行うことにより、老朽化を最小限におさえる等適切な維持管理ができています。
収支状況に対する 評価	貸館事業による利用料金収入があるが、指定管理料が主たる財源となる。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内での執行ができています。
総合評価	施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行、節電等経費削減にも取り組んでいる。また、新規事業の実施、継続的なPRを行い事業周知を図っている。市所蔵作品展を行うことにより、地元有缘のある芸術家の作品を広く市民に知ってもらい、市所蔵の芸術作品を有効活用することができ、施設を有効に利用できている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施設名	加古川ウェルネスパーク
指定管理者	指定管理者西部共同企業体
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	522,503	557,598	図書館利用者減及び新型コロナの影響による。
利用料金（円）	72,787,587	74,555,889	施設利用者減及び新型コロナの影響による。
図書貸出冊数（冊）	525,411	547,323	特集強化の効果が出た月もあったが入館者数減の影響も受け、前年度比▲21,912冊、96.0%となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	429,280,284	396,135,367	
（うち指定管理料）	331,736,000	304,402,000	予算通りの運営ができた。
（うち利用料金）	72,787,587	74,555,889	健康増進の臨時休館により利用が落ち込んだため減となった。
（うちその他）	24,756,697	17,177,478	
支出金額（円）	446,457,097	397,759,338	

3 自己評価

自己評価コメント	ウェルネスパークの長所を活かした運営に努めた。土曜日の午前中に開催している「OPEN DEPARTMENT」は、地域の方からの認知度も徐々に上がり、利用者も増えつつある。この人の流れを館内にももたらし、ことのできるよう、他のイベント開催時にも出展いただき来館者数の増加を図りたい。また、図書館では、「ネイチャークラブ」「読書感想文講座」等の新規事業や小学校との連携事業「スタンプラリー」を通して、図書館を利用したことがない方にも興味を持っていただくことができ、新たな利用者獲得に繋がった。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	複合施設の特長を十分に活かした運営ができている。利用者の声を積極的に取り入れ、また、地元団体や利用者と協力した自主事業の展開をするなど、評価できる事業展開を行っている。
利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、全体的に利用者数が減少している。その中で健康増進施設については、前年度より引き続きプログラムの充実を行った結果、利用目標には届かなかったが、高い水準を維持している。また図書館については、図書貸出冊数・来館者数ともに減少している。引き続き図書館事業等に力を入れ、来館者数の増加に努められたい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業については、健康増進施設で様々な世代、レベルの人向けのクラスで事業を実施し、市民ニーズに応えていることは評価できる。自主事業においては、新たな事業や利用者と協力して行う事業、ウェルネスサマーフェスティバル等の複合施設であることを活かした事業も行っており好評を博していることは評価できる。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。ESCO 事業においては、前年度に引き続き ESCO 事業者との協力により、適切な設備運転により光熱水費の削減をすることができた。
収支状況に対する評価	収入全体としては、健康増進施設利用及び貸館による利用料金収入が2割弱で、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について良好に遂行している。多種多様な自主事業に取り組み新たな事業を行い、複合施設の特長を十分に発揮し、地域コミュニティの中心となっていると評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立漕艇センター
指定管理者	指定管理者西部共同企業体
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	20,040	18,262	高校の新入部員数の増加と、年間を通して水面利用禁止日・雨天日が少なかったことが前年度を超過した要因。
利用料金（円）	2,609,510	2,475,750	高校部員数増加による貸艇数増加、天候不順による大会中止回数が前年は 2 大会に対し今年度は 1 大会のみであったため前年比で増収となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	38,379,539	28,645,488	指定管理料増による
（うち指定管理料）	34,986,883	25,613,000	
（うち利用料金）	2,609,510	2,475,750	貸艇利用増による
（うちその他）	783,146	556,738	
支出金額（円）	39,498,719	32,945,434	人件費増による

3 自己評価

自己評価コメント	第 3 期より加古川市レガッタ事業実行委員会の事務局が漕艇センターに置かれることとなり、「市民レガッタ」「関西学生秋季選手権」の 2 大会で中心となり運営した。初年度で至らぬ点があったが次年度の参考になったと考えている。また、全国市町村交流レガッタでは大分県まで随行し選手のサポートを行った。 オフシーズン中の活性化のために開催している「アドラー心理学セミナー」が定着し、漕艇センターを普段利用しない方が多く来館した。今後も継続し、オフシーズン中の施設の活性化につなげていきたい。 職員全員が研修に参加し、各担当のスキルの向上に努めた。市民の方々に親しんでもらい、安心して利用して頂けるような施設でありたいと考えている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	職員がボート修理の資格を取得することで、より安全なボートの管理や、不具合への素早い対応ができています。また、利用者の安全を最優先に考え、安全監視体制の徹底や艇保守業務の確実な実施等を行っていることは評価できる。
利用状況に対する評価	利用者数は水面利用禁止日数が少なかったことや、高校部員数が増加したことにより、前年度比で増加した。利用料金収入についても高校部員数増加による貸艇数増加や、前年度は雨天により大会中止となったのに対し、今年度は1大会実施できたことの影響で、前年度比で増加した。天候等の外部要因により利用者数が大きく変化する施設であるが、魅力ある事業の展開や施設のPRにより、引き続き利用者数の確保を期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業は今年度より実施。目標人数には届かなかったものの、各種体験教室を実施することで、初心者にも気軽に参加してもらい、レガッタの楽しさを伝えているということは評価できる。レディースボート体験教室では、参加者数名が体験後に利用団体に加入し、継続した活動を行うようになるといった成果も得られている。自主事業については、クルーのための体力測定や、心理学セミナーが好評であり、オフシーズン中にも多数の参加者を得たことは評価できる。合宿レガッタ等の新規事業については、次年度の集客を期待したい。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体では、貸館・貸艇による利用料金収入は1割弱で、指定管理料が主な収入源となっている。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行っているが、支出の超過が多いため改善する必要がある。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、概ね良好に遂行することができた。体験教室、ボート大会の実施や、各種ボート大会への積極的な協力などを通じ、ボート競技の普及に寄与している。また、施設の設備、備品の改善に取り組み、利用者の利便性、安全性を向上することに力を入れていることは評価できる。今年度より加古川市レガッタ実行委員会の事務局として大会運営を行っているが、今年度の経験を活かし次年度のより良い大会運営に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川海洋文化センター
指定管理者	S&O グループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	166,165	177,905	大規模修繕に伴う 1 か月の休館及び、新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用自粛有
図書貸出冊数（冊）	196,754	220,387	大規模修繕に伴う 1 か月の休館及び、新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用自粛有

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	91,833,980	86,164,756	
（うち指定管理料）	81,771,148	77,794,000	指定管理者変更に伴う提案額の変更
（うち利用料金）	492,750	579,500	大規模修繕に伴う休館及び感染症拡大の影響による利用自粛有
（うちその他）	9,570,082	7,791,256	
支出金額（円）	88,658,797	84,284,809	

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理の初年度ということもあり、前任者からの各種引継を円滑に行うと同時に、いかに独自性を出していけるかという点を試行錯誤してきた 1 年であった。次年度以降は、より利用者の満足度を高める為、初年度の反省を活かしていく。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	今年度より S&O グループが指定管理者となったが、前指定管理者からの引継ぎに併せ新たな事業を取り入れる等、魅力的な施設となるよう努めており、引き続き期待したい。夏季のじゃぶじゃぶ池を目的とする来館者だけでなく、1年を通してコミュニティの場として親子連れを中心に利用されていることは評価できる。
利用状況に対する 評価	空調改修修繕実施のため一時休館していた期間を除くと、利用者数は前年に比べ微増している。引き続きパンフレットの設置や SNS の活用等で施設を PR し、利用者増に努められたい。
自主（指定）事業 に対する評価	指定事業において、海洋文化事業はシーカヤック入門教室、海の学習会が目標値を上回った。図書事業はおはなしの時間、はじめまして絵本の2事業であったが、ともに好調であった。一方、自主事業については、歌声オーシャン、あかちゃん絵本の会、クレヨンでうららん春が好評であり、目標値を上回った。利用者の動向を伺い、試行錯誤しながら事業を実施した1年であり、次年度に活かされることを期待したい。
施設維持に対する 評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに、必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入全体としては、利用料金収入等の占める割合が低く、指定管理料が9割を占め、主な収入源となっている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。特に子供連れの利用者が多く、海洋文化に関する知識の普及だけでなく、親子で楽しめる事業を多数行い、子育て支援の拠点としての役割も果たしていることは評価できる。本施設は図書室という特色があり、地域の交流拠点のひとつともなっており、今後も益々、施設の重要性が高まってくると考えられる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川スポーツ交流館
指定管理者	S&O グループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	133,202	148,234	3月4日より感染症拡大予防のための休館による

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	119,132,344	133,559,130	
（うち指定管理料）	59,290,000	72,362,271	指定管理者変更に伴う提案額変更
（うち利用料金）	48,533,021	51,952,954	感染症拡大予防に伴う臨時休館のため
（うちその他）	11,309,323	9,243,905	
支出金額（円）	126,640,264	132,474,132	

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理期間初年度で、年間を通じて、要望・ご意見について真摯に受け止め、設備・事業およびサービス全てにおいて改善に努めた。次年度以降についても、利用者のニーズの把握に尽力、積極的に対応することで満足度の向上を目指す。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	今年度より S&O グループが指定管理者となったが、前指定管理者からの引継ぎに併せ新たな事業を取り入れる等、魅力的な施設となるよう努めており、引き続き期待したい。施設の維持管理については、経年劣化による故障等に対して、迅速で適切な対応をし、安全で快適な施設運営ができています。
利用状況に対する評価	利用者数、利用料金収入ともに、前年度値、目標値を下回ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館期間を考慮すると、前年度とほぼ同等あるいは若干の伸びがあったものと見込まれる。
自主（指定）事業に対する評価	指定事業については、小学生スイミングが目標値を大きく上回り好評であった。自主事業については、全体を通して目標値を大きく上回っている。多様なプログラムを取り入れ、利用者が飽きることなく運動ができるよう取り組んでいることは評価できる。指定管理者の変更に伴う事業内容の変更により、利用者からの意見も多くあったが、今後さらに利用者の満足を得られる事業展開を期待する。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費については、当初予算を超過したが、指定管理業務の収支の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、利用料金収入が4割、指定管理料が5割を占め主な収入源となっているが、ほぼ計画通り確保できている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定管理者の変更ということもあり、既存のプログラムの見直しや新規事業が多くあった。引き続き、継続性の高い利用者に安定して利用されるよう期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	浜の宮市民プール
指定管理者	S&O グループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	60,590	54,151	厳しい暑さの為、7月及び9月度の利用者数が前年増となった為

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	34,082,959	31,753,879	
（うち指定管理料）	7,193,635	6,647,000	指定管理者変更に伴う提案額の変更など
（うち利用料金）	23,366,765	24,409,484	7月繁忙日の天候不良など
（うちその他）	3,522,559	697,395	
支出金額（円）	34,129,977	33,611,818	

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理の初年度ということもあり、前任者からの各種引継を円滑に行うと同時に、いかに独自性を出していけるかという点を試行錯誤してきた1年であった。次年度以降は、より利用者の満足度を高める為、初年度の経験を活かしていく。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	今年度より S&O グループが指定管理者となったが、前指定管理者から業務を適正に引継ぎ、適正な運営がなされていた。民間企業のノウハウを活かした専門的な知識と技術で、利用者の安全性を確保するとともに、サービスの向上、利用促進ができています。今年度は、PTA と連携し、「PTA 夏休みプールカード」を持参の小学生を対象に、無料で施設を利用させるといった取り組みを行い、市内の子どもたちへ水と触れ合う機会を提供したことは評価できる。
利用状況に対する 評価	土日に天候不順が多かったことが影響し、利用者数、利用料金収入共に目標値を下回った。屋外プールという性質上、利用者数は天候に左右される面が大きいですが、一定の利用者数を確保し、安全に開場運営することができたことは評価できる。
自主（指定）事業 に対する評価	指定事業については、広報活動に力を入れたものの、一般利用者の利用へ差し支えないよう開催時間を配慮した結果、実施した 5 事業全て目標値を下回る結果となった。自主事業については、水上遊具であるビッグローラーを提供する新たな取り組みを実施し、目標値を上回った。
施設維持に対する 評価	定期的な場内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに、必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入に占める指定管理料の比率は少なく、利用料金収入が 7 割弱を占める施設である。今年度は土日に悪天候の日が多く、利用料金収入が前年度比で減少した。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。事故もなく、多くの利用者に安全・安心なプール施設の提供ができた。また、前年度から引き続き実施した日曜日・祝日の午後割引等、来場者の分散を積極的に行う工夫については評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施設名	加古川市ウォーキングセンター
指定管理者	農事組合法人 みとろ生産組合
指定期間	平成30年4月1日から令和3年3月31日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	4,008 人	3,506 人	利用人数は、前年度比 14%の増加であった。自主事業を展開し、利用増に努めた。また、小学校の校外学習の利用も増えた。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	4,397,456	4,527,012	
（うち指定管理料）	4,397,443	4,527,000	指定管理者の提案による
（うちその他）	13	12	利子
支出金額（円）	4,397,456	4,527,012	

3 自己評価

自己評価コメント	ウォーキングセンターの利用者が前年度比約 14%増であった。写真展などの自主事業で新規利用者が増加した。また、小学校校外学習での利用も増えた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	同エリアに拠点を置く指定管理者としての強みを生かし、同指定管理者が管理運営する近隣のみとろフルーツパークと連携した事業を行うなど、地域密着型施設として事業展開している。リピーターや自主事業による新規利用者も増えており、施設を知ってもらう努力をしていると評価する。
利用状況に対する評価	年間を通して天候に恵まれたこともあり、今期は前年度と比べ利用者数が大幅に増加した。写真展や他施設との連携事業を積極的に行うなど利用者を増やすための取り組みを行っている。
自主（指定）事業に対する評価	ギフチョウの館内展示、地域生物展示を通年で実施しており、窓口で季節に合わせた自然観察等の情報提供を行っている。また、写真展を実施し、施設に来所するきっかけ作りをし、新たな利用者獲得を図っている。

施設維持に対する評価	日常点検・清掃（トイレ、洗体室、鏡、床）を毎日2回実施する他、週1回窓ガラス定期清掃を実施。また、屋外の植木・芝生の手入れも行い、施設を適切に維持管理できている。
収支状況に対する評価	収入は、貸館業務がないため指定管理料がほぼすべてを占めている。定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行っている。
総合評価	ウォーキングの拠点として広まりつつあり、ウォーキングの施設利用者から高い評価を得ている。また、研修室の定期的な利用もあり、地元を中心にコミュニティ施設として定着している。事業では、みとろフルーツパーク等の近隣施設と連携した収穫体験学習等を行っている他、植物観察会、写真展等を行い、施設を広く知ってもらい、より多くの人が利用する施設になるべく努力していることは評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立日岡山体育館
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	123,983	126,396	コロナウイルスの影響による大会等の中止
競技場稼働率（％）	84.3	82.9	個人利用の増加

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	79,976,938	81,460,086	大会等の中止
（うち指定管理料）	55,008,506	59,542,000	
（うち利用料金）	16,997,310	16,891,154	
（うちその他）	7,971,122	5,026,932	
支出金額（円）	79,590,839	68,353,966	

3 自己評価

自己評価コメント	施設全体の受付業務を一括集中することにより、全ての出来事に対して、臨機応変な対応で総合的な管理を行うことができた。また、安全にも配慮して運営できた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができている。
利用状況に対する評価	利用者数は昨年度をやや下回っており、利用料金収入は昨年度をやや上回っている。今後の利用者数増の対策について期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業については目標値を達成できた。今年度については、「キッズチアダンス」の参加者数が目標値を大きく上回り、多くの参加者に楽しんでもらえた。他の事業についても、引き続き参加者の獲得に努められたい。指定事業については今年度より新たに実施。親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、日岡山エリア全体で連携した事業であり、各施設の認知度を上げる新しい取り組みとして評価できる。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が3割弱で、指定管理料以外での収入もほぼ計画通り確保できている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、市民スポーツの拠点として定着しており、市民スポーツの環境づくりに寄与している。自主事業についても利用者のニーズを把握し、新規事業を展開することで多くの参加者を集めている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立武道館
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	35,814	40,055	コロナウイルスの影響による大会等の中止
武道場稼働率（％）	59.4	63.0	定期利用の減少

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	20,372,332	11,758,568	特定修繕による指定管理料変更のため
（うち指定管理料）	9,417,300	8,177,000	
（うち利用料金）	2,728,070	3,060,370	
（うちその他）	8,226,962	521,198	
支出金額（円）	20,374,298	12,150,068	特定修繕のため

3 自己評価

自己評価コメント	施設全体の受付業務、利用者への接客、清掃業務、メンテナンスなど総合的な運営管理を行うことができた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができています。
利用状況に対する評価	利用者数、利用料金収入ともに、年間を通して前年度実績を下回っている。今後の利用者数増の対策について期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業については、目標値を下回っており、今後、新規参加者獲得方法と定着率を上げる方法を検討する必要がある。指定事業については今年度より新たに実施。親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、日岡山エリア全体で連携した事業であり、各施設の認知度を上げる新しい取り組みとして評価できる。「苦手克服教室」は、告知が行き届かず目標値を大きく下回ったため、今後PR方法を見直す必要がある。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入全体としては、貸館による利用料金収入、その他が1.5割程度で、指定管理料以外での収入もほぼ計画通り確保できている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。自主事業については、目標値を達成するため、事業の見直し、新規事業の展開に期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	日岡山公園グラウンド
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	50,712	57,587	2ヶ月間の休業期間のため
稼働率（％）	87.2	85.9	定期利用チーム数の増加

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	7,892,108	6,653,800	
（うち指定管理料）	3,395,016	2,777,000	
（うち利用料金）	3,294,900	3,876,800	2ヶ月間の休業期間のため
（うちその他）	1,202,192	0	
支出金額（円）	7,684,180	6,970,072	指定事業の実施

3 自己評価

自己評価コメント	年度末にコロナウイルスの影響を受けたが、昨年度を上回る稼働率となった。
----------	-------------------------------------

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。また、スポーツ関連企業の経験を活かしたサッカースクールは多くの参加者を集め、児童の競技能力向上に寄与している。
利用状況に対する評価	人工芝張替え修繕実施のため休場していた期間があること等を考慮すると、利用者数、利用料金収入ともに、一定の水準で推移しており、各競技の協会利用により安定した利用を確保している。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業のサッカースクールについては、参加者に好評であり、目標値を上回ることができた。指定事業については今年度より新たに実施。グラウンドゴルフ大会については、目標値を上回ることができており、今後も満足度の高い大会となることを期待したい。親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、日岡山エリア全体で連携した事業であり、各施設の認知度を上げる新しい取り組みとして評価できる。
施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともにほぼ予算どおりに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	利用料金収入が全体の約4割強となり、指定管理料以外での収入もほぼ計画通り確保できている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとり、高い稼働率を維持することができている。自主事業については、安定して参加者を確保できており、目標値も上回っており評価できる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	日岡山公園第 1 テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	16,357	15,636	一般利用の増加
稼働率（％）	49.3	46.7	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,850,428	6,517,906	利用者数の増加
（うち指定管理料）	0	0	
（うち利用料金）	6,496,150	6,231,150	
（うちその他）	354,278	286,756	
支出金額（円）	6,269,804	5,001,332	

3 自己評価

自己評価コメント	年度末に起きたコロナウイルスの影響で学校部活動が軒並み中止となったが、利用者数は昨年度を上回ることができた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。
利用状況に対する評価	年間を通して天候に恵まれたこともあり、利用者数、利用料金ともに前年度を上回ることができた。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業のテニススクールについては12月～3月の第2テニスコートが凍結しやすい季節のみの使用であるが、講師の確保ができたことと、スクール会員が増加したことにより目標値を大幅に上回った。指定事業については今年度より新たに実施。ソフトテニス協会と共同で実施の「ソフトテニス大会」は、参加者に好評であり目標値を上回った。また、親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、日岡山エリア全体で連携した事業であり、各施設の認知度を上げる新しい取り組みとして評価できる。
施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	指定管理料がなく、利用料金収入が収入のほぼ全てを占めるが、ほぼ計画通り確保できている。定期的な清掃・点検の実施、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内でほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について遂行することができた。今後も利用者にとって満足度の高い施設であり続けるよう期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	日岡山公園第2テニスコート
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	6,949	6,078	凍結による中止コマの減少で利用者数が増加
稼働率（％）	22.9	20.3	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	3,781,910	2,158,172	利用者数の増加
（うち指定管理料）	2,160,492	670,000	
（うち利用料金）	1,531,885	1,398,635	
（うちその他）	89,533	89,537	
支出金額（円）	3,251,464	3,130,527	

3 自己評価

自己評価コメント	冬季期間はグラウンド不良で使用できないことが多いが、整備に注力したため、昨年度と比較し利用者数は増加となった。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。指定管理者が定める基準により利用料金を引き下げることで、より多くの利用者が気軽に利用できる環境を整えている。
利用状況に対する評価	年間を通して天候に恵まれたこともあり、利用者数、利用料金ともに前年度を上回ることができた。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業のテニススクールについては、目標値は下回ったものの前年度より参加者が大幅に増加した。講師の確保ができたことと、スクール会員の増加によるものである。今後も引き続き、講師の体制を整え参加者の確保に期待したい。指定事業については今年度より新たに実施。親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、日岡山エリア全体で連携した事業であり、各施設の認知度を上げる新しい取り組みとして評価できる。
施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに、必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入のうち利用料金収入が全体の約4割を占め、指定管理料以外での収入もほぼ計画通り確保できている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、また、必要な修繕・備品購入を行うことができた。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について遂行することができた。アンツーカコートは、競技団体のほか学校の部活動でも利用されているので、今後もその特性を活かした取り組みに期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	日岡山公園野球場
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	14,611	14,839	コロナウイルスの影響による大会等の中止
稼働率（％）	45.5	46.2	コロナウイルスの影響による定例利用の中止

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	22,216,872	19,450,570	
（うち指定管理料）	18,017,729	16,365,000	
（うち利用料金）	2,494,910	2,658,400	大会等の中止
（うちその他）	1,704,233	427,170	
支出金額（円）	21,178,158	21,247,709	

3 自己評価

自己評価コメント	防球フェンス、音響スピーカーの大型修繕を実施した。利用者からの意見をもとに備品の選定、購入を行い、利用者満足度向上を図った。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。専門的な知識と技術を活かし施設管理を行っている。
利用状況に対する 評価	利用者数、稼働率ともにほぼ前年度並みであるが、コロナウイルス感染症の流行による利用控え等を考慮すると、前年度より伸びていると考えられる。
自主（指定）事業 に対する評価	自主事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったため、次年度に期待したい。指定事業については今年度より新たに実施。親子で7施設を回り各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、日岡山エリア全体で連携した事業であり、各施設の認知度を上げる新しい取り組みとして評価できる。
施設維持に対する 評価	清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	収入のうち利用料金収入は全体の約1.1%程度であり、指定管理料が主な収入源となっている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、ほぼ計画どおりの執行ができています。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。今後も利用者にとって満足度の高い施設であり続けるよう期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	日岡山市民プール
指定管理者	ミズノグループ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	22,879	26,988	雨天による影響
利用料金（円）	9,441,300	11,237,450	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	10,227,624	16,409,889	雨天の影響のため
（うち指定管理料）	0	4,175,600	
（うち利用料金）	9,441,300	11,237,450	
（うちその他）	786,324	996,839	
支出金額（円）	12,581,571	13,279,108	

3 自己評価

自己評価コメント	過去、日岡山市民プールで働き、経験値のあるアルバイトスタッフを多く採用することで人件費の削減に成功した。また、数回の研修を実施したことで円滑な運営ができた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行えている。老朽化した施設ではあるが、専門的な知識と技術を持つ指定管理者のノウハウを活かし、利用者の安全性を確保するとともに、サービスの向上、施設の利用促進を図っている。今年度は、PTAと連携し、「PTA 夏休みプールカード」を持参の小学生を対象に、無料で施設を利用させるといった取り組みを行い、市内の子どもたちへ水と触れ合う機会を提供したことは評価できる。
利用状況に対する 評価	土日に天候不順が多かったことが影響し、前年度比、目標値共に下回った。屋外プールという性質上、利用者数は天候に左右され、毎年度利用者を安定確保することは難しいが、安全性確保を第一に利用者を増やすことを期待したい。
自主（指定）事業 に対する評価	前年度に引き続き自主事業の「縁日」を実施した。輪投げ・射的・スーパーボールすくいなど子供に満足してもらえるような内容であり、参加者から好評を得ている。指定事業については今年度より新たに実施。親子で7施設を回り、各テーマをクリアしてスタンプを集める「親子スポーツスタンプラリー」は、日岡山エリア全体で連携した事業であり、各施設の認知度を上げる新しい取り組みとして評価できる。
施設維持に対する 評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費共に必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する 評価	指定管理料がなく、利用料金収入が収入のほぼ全てを占めるが、ほぼ計画通り確保できている。定期的な清掃・点検の実施、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内でほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。事故もなく、多くの利用者に安全・安心なプール施設の提供ができた。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立志方体育館
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数(人)	27,202	25,666	一般利用者増による

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額 (円)	9,638,879	9,778,677	
(うち指定管理料)	5,573,424	5,910,000	
(うち利用料金)	3,729,305	3,569,206	
(うちその他)	336,150	299,471	
支出金額 (円)	8,969,628	8,548,440	

3 自己評価

自己評価コメント	利用者から要望の多かった暑さ対策として、予算の範囲内でできる大型扇風機を追加購入して対応した。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	志方東公園テニスコートと一括で指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。また、アンケート等に基づき、利用者のニーズに応えた運営を心がけており、指定管理者の特性を活かして、スポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する評価	前年度の利用者数、利用率、稼働率の実績を上回ることができた。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、利用率、稼働率を増加させる工夫をし、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	自主事業であるシェイプアップ教室は、参加者数の目標値を下回ってはいるが、年間を通して参加者数が安定しており、利用者から高評価を得ている。また、地域感謝運動会は、地域との交流を深め施設の存在をPRできる良い機会となっている。今後も新規利用者獲得のため新たな事業の展開に期待する。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費については、当初予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入としては、指定管理料以外に、貸館による利用料金収入が約 39% を占めているが、ほぼ計画通り確保できている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内でほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができている。地元に着した施設運営ができおり、市北部のスポーツの場として親しまれている。積極的に自主事業に取り組み、シェイプアップ教室、卓球教室など独自の事業を行い、好評を得ている。今後もより一層、利用者ニーズに沿った事業を期待する。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	志方東公園テニスコート
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数 (人)	7,288	6,446	一般利用者増による

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額 (円)	7,035,586	6,237,718	
(うち指定管理料)	3,685,771	3,214,000	
(うち利用料金)	3,152,655	2,852,910	
(うちその他)	197,160	170,808	
支出金額 (円)	6,301,328	6,223,630	

3 自己評価

自己評価コメント	利用者から要望があったロビーの暑さ対策としてスポットエアコンを1台導入した。また、コートの休憩所に日よけ屋根を設けた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営 (サービス) に対する評価	志方体育館との一括で指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。また、親しみやすい施設として多くのリピーターに親しまれている。指定管理者の特性を活かしてスポーツの普及に寄与している。
利用状況に対する評価	前年度の利用実績より利用者数、稼働率ともに増加しており、リピーターをしっかりと確保している。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数を増加させる工夫をして、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主 (指定) 事業 に対する評価	自主事業であるテニス教室が好評であり、参加者数も目標値を達成している。利用者から高評価を得ている事業であるので、今後も当事業を継続されたい。指定事業である世代間テニス大会は、年4回実施予定のところ参加者数が集まらず年2回の実施に留まっており、参加者の拡大が今後の課題である。

施設維持に対する評価	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費は必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入としては、指定管理料以外に、貸施設による利用料金収入が約44%を占めているが、ほぼ計画通り確保できている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内でほぼ計画どおりの執行ができている。
総合評価	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。自主事業のテニス教室は、初心者教室など利用者に親しみやすい事業に取り組み、利用者数の目標値を上回ったことは評価できる。今後は、施設の認知度向上のための事業を展開し、更に多くの人に利用される施設となることを期待する。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立総合体育館及び加古川運動公園陸上競技場
指定管理者	株式会社加古川運動公園市民スポーツサービス
指 定期 間	平成 17 年 12 月 2 日から令和 7 年 3 月 31 日まで
施設所管課	協働推進部 ウェルネス推進課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
総合体育館 施設使用者数 (人)	129,518	134,161	1～3月の大規模修繕工事と新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設利用が一部できなかったことが主な要因と思われる。
陸上競技場 施設使用者数 (人)	119,976	112,828	当年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休場の影響で若干大会が減少したが、特に学生の個人利用が急増(約 3,500 人)した事で、前年度に対して 7,148 人の増となった。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額 (円)	381,671,999	381,340,653	
(うち割賦売上高)	171,797,480	171,797,480	
(うち管理・運営業務料)	209,874,519	209,543,173	消費者物価指数変動による増加額
支出金額 (円)	376,477,224	376,279,808	消費者物価指数変動による増加額 3,332,125 円他

3 自己評価

自己評価コメント	以下の活動を行った。 1. 運営に関する事項 ①バレーボールによる展開 みるスポーツ： Vリーグディヴィジョン1加古川大会、今回初めて2試合を2日間開催し、3,607人の観衆の中、大いに盛り上がった。 するスポーツ： バレーボール教室(JTマーベラス)・市内9中学校女子部員119名顧問9名の参加で開催しJTチームの選手・コーチより実技指導を受けた。 ささえるスポーツ：
----------	---

	総合体育館杯ジュニアバレーボール大会開催による競技人口の底辺拡大。 ① 世代間の交流活動 カローリング教室を開講して普及活動を行い、その成果として、各地(岡山・徳島・大阪等)からの参加者を交えて、第14回大会を開催した。 今後とも総合的に総合体育館・陸上競技場の活性化を図りたいと考えている。 2 維持管理に関する事項 清掃に関しては、気持ちよく使用できる清潔な環境を維持するために、充分気を配り、「いつもきれいな施設である」と使用者に評価していただいている。今後もこの評価を維持できるようにする。 設備については、体育館・競技場とも、水回りを中心に経年劣化による不具合が発生しつつあるので引き続き、予防保全の観点から早期発見・早期修理を心がけていく。
--	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	PFI 事業の基本方針である「するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツ」の拠点となっており、様々なスポーツで重要な施設として広報することができている。また、アンケートの実施や有識者等による活性化委員会の開催により、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	利用者数について、総合体育館は前年度を下回る実績、陸上競技場は前年度を上回る実績となったが、体育館は大規模修繕工事および新型コロナウイルス感染症拡大による利用控えの影響であり、利用者数は減少したが一般利用客は一定の水準を維持している。
自主（指定）事業に対する評価	PFI 事業については、市主催スポーツ教室、自主活性化事業等の各教室を実施し、市民スポーツへの関心を高め施設の活性化に寄与した。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	収入については市からの設計・建設費委託料が 45%、維持管理・運営費委託料が 55%の比率となっている。支出は、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行った。
総合評価	PFI 事業要求水準書（一次、二次）に基づく提案書、事業計画書に基づいて、管理運営を確実に実施している。総合体育館においては、活性化事業として様々な教室を実施し、市民の健康づくりに大きく寄与している。また、無料開放している市民クラブルームをはじめ、近隣住民を中心にコミュニティ施設として定着している。陸上競技場においては陸上競技教室を実施し、児童の競技能力向上に寄与している。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立勤労会館
指定管理者	一般社団法人 加古川労働者福祉協議会
指 定 期 間	平成 30 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日
施設所管課	産業経済部 産業振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	65,303	69,988	施設の老朽化及び他公共施設（総合福祉会館の再開）利用などによる減少。新型コロナウイルスの影響による貸館休止。
利用件数（件）	2,727	3,160	同上

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	19,476,899	18,971,555	
（うち指定管理料）	16,453,093	15,601,604	最賃上昇分の増加
（うち利用料金）	3,023,785	3,369,920	施設老朽化による減額
（うち雑入）	21	31	
支出金額（円）	19,425,076	18,389,318	保守修繕費の増額

3 自己評価

自己評価コメント	清潔な身だしなみと名札着用を徹底するほか、利用者に対する丁寧な態度や言葉づかいに心がけた結果、利用者から「大変気持ちがいい」と喜ばれた。 また、経費節減に取り組み、指定管理料のうち光熱水費の一部を市に返還することができた。 貸館業務についても大きなトラブルもなく、適切に管理運営が出来たものと考えている。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	事故なく、適切な施設の管理運営が行われている。また、施設の設備上の制限があるが、利用者のニーズ把握に努めながら、可能な範囲でサービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	施設が老朽化する中、前年度と比較して利用件数は減少しているが、職員が笑顔で丁寧に対応し、サービス向上に努めている。また、ホームページを随時更新し、利用者に対して最新の情報を提供できている。
自主（指定）事業に対する評価	勤労者の福利厚生につながる事業を行い、勤労者の教養文化の向上、福祉の増進、会館利用者の増加に寄与している。
施設維持に対する評価	定期的な館内清掃、植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、感染症対策も適切に実施できている。 このほか、施設の老朽化が進む中、貸館業務に支障が出ないように維持管理に必要な点検や修繕について遅滞なく対応できている。
収支状況に対する評価	節電・節水など経費節減に取り組み、光熱水費が削減されたことにより市に指定管理料の一部が返還された。
総合評価	適切に運営・管理されている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立地域産業振興センター
指定管理者	地域産業振興センター運営協議会
指 定 期 間	平成 30 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで
施設所管課	産業経済部 産業振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	7,551	9,717	新型コロナウイルスの影響により貸館を休止したため。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,069,481	6,000,983	
（うち指定管理料）	6,069,441	6,000,920	
（うち利用料金）	—	—	
支出金額（円）	6,069,481	6,000,983	

3 自己評価

自己評価コメント	利用者に対してアンケート調査等を実施し、快適に施設を利用してもらえるように対処している。設備点検や簡易な修繕を行い、地域に開かれた施設として適切に管理運営している。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営業務においては、事業計画通り実施されている。利用者アンケートによる施設利用の満足度も 86.1%、中でも窓口の対応に関する満足度 93.5%、清掃・美観は 92.8%と評価が高く、利用者等の意見を把握し、管理運営に反映されていると評価できる。
利用状況に対する評価	利用者数については、昨年度と同様程度と想定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため貸館休止としたため昨年度より減っているものの、適切な利用応対を行った。
自主（指定）事業に対する評価	みどり喫茶事業により、地域住民のコミュニティの形成及び当該センターの利用促進が図られている。 靴下の購入希望者があれば、販売業者へ取り次ぐなど、地場産業の販売促進に努めている。
施設維持に対する評価	清掃業務については業者委託により適切に実施しているほか、事務員でも掃除を行っている。 修繕関係への意見・要望については、緊急性のあるものから順次計画的に対応している。 こまめな消灯や電源の ON/OFF 等を徹底し、省エネの取組も積極的に進めている。
収支状況に対する評価	不要な支出は認められず、適正に経理処理されている。 また、コピー用紙の裏面利用や古封筒の再利用など事務用品の経費削減を徹底している。
総合評価	概ね適正に運営・管理されている。地域産業の振興と地域住民の生活文化向上である施設の目的にそった管理運営が行われている。 経費削減についても、細部に渡り努力が認められる。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立しろやま農業研修センター
指定管理者	しろやま農業研修センター管理運営協議会
指 定 期 間	平成 30 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで
施設所管課	産業経済部 農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用件数（件）	1,141	1,340	新型コロナウイルス感染拡大防止による貸館休止等のため減少。
利用者数（人）	18,617	21,283	同上。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,315,128	6,443,667	
（うち指定管理料）	6,315,108	6,443,649	
（うち利用料金）	—	—	
支出金額（円）	6,258,703	6,445,299	

3 自己評価

自己評価コメント	運営管理については適切に実施できたと自負している。
----------	---------------------------

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	全体の収支は黒字となっており、利用者満足度調査に関するアンケート実施においては良好な結果を得ている。特にコメントでは、「掃除が行き届いている」、「事務員は親切で対応が良い」といった意見が多く、良好に運営されている。
利用状況に対する評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止による貸館業務休止の影響により、利用件数、利用者ともに減少している。今後は自主事業の実施等により、利用者数の増加を期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	志方東地区の最大の農業イベント、コスモス祭の中央案内所等としても活用し、施設のPR効果も大きく評価できる。
施設維持に対する評価	利用者アンケート結果において、「いつも綺麗に掃除されて気持ちがいい」とのコメントが複数あるように、管理者自ら施設を大切に取扱っている。 節電、節水等の取り組みについては張り紙等による啓発により大部分の利用者に浸透しているように思われる。
収支状況に対する評価	光熱水費についても余剰金が発生し、市に返金する結果となり評価できる。 経費削減の取り組みについては、特に電気・上水道関係では以前からの取り組み（利用にあたってのお願い等）が利用者に浸透し、協力が得られている。
総合評価	概ね適切に運営・管理されている。地域密着型の施設であるので、今後も施設の認知度向上や利用者のニーズに沿った事業展開を期待したい。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立農村環境改善センター
指定管理者	農村環境改善センター運営協議会
指 定 期 間	平成 30 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで
施設所管課	産業経済部 農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（件）	1,581	1,686	新型コロナウイルス感染症拡大防止による 3 月度貸館休止のため減少。
利用者数（人）	24,257	26,906	講演会が昨年より 1 回減少し、3 月度貸館が休止したため減少。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	6,427,580	6,577,308	
（うち指定管理料）	6,241,965	6,431,111	
（うち利用料金）	—	—	
支出金額（円）	6,409,550	6,571,050	3 年ごとの清掃（ワックス剥離）、12 条点検（建築）の委託なし。

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理経費内で運営、管理を適切に行っている。
----------	-------------------------

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	地元町内会が主体となった指定管理者であり、地域に密着した運営を実施しており、利用者から特に苦情もなく適正に運営管理を行っている。
利用状況に対する 評価	3月の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための貸館業務の休止によって件数、人員ともに減少したが、2月までは利用件数と利用人数ともに昨年度と比較して増加で推移していた。
自主（指定）事業 に対する評価	平成30年度から実施した事業のほとんどを継続しており、展示会等の開催やハロウィンイベントの実施等で、PR効果も大きく期待できる。
施設維持に対する 評価	修繕については、部品を購入して直に修繕するなど対応も早く、また経費の削減にも貢献している。
収支状況に対する 評価	会計全体の収支決算は黒字であり、経理状況については、適正に処理されている。また、光熱水費についても余剰金が発生し、市に返金する結果となり評価できる。
総合評価	適切に運営・管理されている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市見土呂フルーツパーク
指定管理者	農事組合法人みとろ生産組合
指 定 期 間	平成 30 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで
施設所管課	産業経済部 農林水産課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
クリスタルアーチ 入館者数（人）	117,572	113,507	5月の連休の日数増加の影響及び好天候が多かったため増加。
バーベキュー 利用件数（件）	640	618	同上。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	43,537,543	43,590,129	
（うち指定管理料）	41,046,289	41,466,141	
（うち利用料金）	—	—	
（うちその他）	2,491,254	2,123,988	
支出金額（円）	42,805,494	42,909,566	

3 自己評価

自己評価コメント	新型コロナウイルス感染症の拡大により、来場者の一番多い3月に17日間閉園になったが来場者は増加となった。また、鳥獣害対策として園全体にフェンスや防鳥ネットを設置し、細やかな防護で農作物被害の減少に努めた。それにより収穫体験等はたくさんの親子に楽しんでもらえ、農業公園本来の目的を達したと自負している。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	利用者アンケートの実施や利用者の声を収集するため意見箱など、サービス向上に繋げようとする姿勢を維持している。また、イベント時には開催場所の案内板を設置し、分かりやすくするなど、利用者が気持ちよく利用してもらうための配慮が随所に表れている。 バーベキューブース利用者には、手ぶらでも利用できるよう食材の申込みに対応している。そして、地域ブランドである加古川和牛も選択できる等、地場産業のPRと振興に貢献している。
利用状況に対する評価	利用者数は前年より増加しており、SNS等による情報を常に更新する等、利用者数の増加に努めている点を評価している。
自主（指定）事業に対する評価	喫茶では果樹園やフルーツパークのフルーツを使用したメニューを加え、PRに尽力している。喫茶にてハーブティーのサービスをするという新しい取り組みも行っており、評価できる。
施設維持に対する評価	修繕に対しては早急に行動し、修繕が出来るまでの間の利用者等への安全対策も適宜講じている。 広大な敷地ではあるが手入れがよく行き届いている。利用者にはゴミの持ち帰りを周知し、ゴミ箱は一切置かない等徹底している。
収支状況に対する評価	自主事業を含む会計全体の収支決算、委託分の収支決算はともに黒字である。また、電気使用量及び水道使用量の節約を実施し、光熱水費については不用額が発生し、市へ返金している点は評価できる。
総合評価	概ね適正に管理運営が実施されている。利用状況については利用者の増加に繋がる事業展開を推進するなど、より一層の努力を期待する。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市総合福祉会館
指定管理者	社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会
指 定期 間	平成 29 年 8 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで
施設所管課	福祉部 高齢者・地域福祉課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用件数（件）	2,532	2,299	リニューアルオープンしてから1年半経過し、広く市民に周知されたため利用件数が増加した。
利用人数（人）	55,392	55,737	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	30,119,050	29,993,000	消費税額の増
（うち指定管理料）	30,119,000	29,993,000	
（うち利用料金）	—	—	
支出金額（円）	33,839,409	33,993,506	2月、3月の水道光熱費の減

3 自己評価

自己評価コメント	市民の利用しやすい施設、求められる施設機能など、あらゆる機会を通じ意見を取り入れながら、管理運営を行うように努めている。今後も、市民の意見を反映した事業の拡大に努めていく。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	利用者への意見聴取やアンケートの実施により、施設の利便性やサービスの向上に努めている。
利用状況に対する 評価	令和2年2月、3月と新型コロナウイルスの影響があったが、各種事業の展開、窓口機能の充実、2階ロビーの活用とともに、総合福祉会館のPRを行ったことで、利用者層が拡大し、施設利用者数については目標値を上回っている。
自主（指定）事業 に対する評価	福祉に関する相談への幅広い対応、各種講座の案内や情報の収集・提供を積極的に行い、施設利用者の増加や市民の福祉意識の高揚に努めている。
施設維持に対する 評価	定期的な点検や清掃、警備、管理運転業務等の実施により、適切な維持管理が行われている。
収支状況に対する 評価	照明や空調の適正な管理に加え、各種事業における経費削減に取り組んでいるが、収支は、指定管理料を上回る支出となっている。
総合評価	平成29年度に総合福祉会館がリニューアルされて以降、指定管理者の持つ専門性やネットワークを生かし、サービス向上や利用者の増加に取り組んでおり、指定管理業務の遂行はおおむね良好。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立知的障害者総合支援センター
指定管理者	社会福祉法人加古川はぐるま福祉会
指 定 期 間	平成 29 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで
施設所管課	福祉部 障がい者支援課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
生活支援センター（人） （施設入所支援）	461	470	利用者数が前年度より減少したため
生活支援センター（日） （生活介護）	15,353	14,981	利用者数が前年度より増加したため
生活支援センター（日） （短期入所）	870	895	利用者数が前年度より減少したため
生活支援センター（日） （日中一時）	228	242	利用者数が前年度より減少したため
就労支援センター（人） （通所利用）	15	39	利用者数が前年度より減少したため
見学受入（人） （啓発活動）	572	553	団体の見学受入れがあったため

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	252,690,861	252,648,180	
（うち指定管理料）	28,368,616	28,108,356	消費税増税分の増加
（うち利用料金）	213,953,677	215,847,133	自立支援給付費の減少
（うちその他収入）	10,368,568	8,692,691	雑収入の増加
支出金額（円）	256,550,736	248,048,637	退職給付、修繕費の増加

3 自己評価

自己評価コメント	「公立施設」が有する公共性を保ちつつ、「民間運営」ならではの低コスト、質の高いサービス、臨機応変な対応により、利用者の希望する「自立支援」の達成と「安全で安心」できる総合的な福祉サービスの提供体制を整えることができた。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	毎月の利用者保護者会によりニーズの把握に努め、送迎バスの運行や直営による給食の実施など、利用者の希望する自立支援と安全・安心な福祉サービスの提供が行うことができている。
利用状況に対する評価	しっかりとした人材育成や職員間の連携等、受け入れ側の体制が整備されていることにより、安定した利用状況を維持できている。
自主（指定）事業に対する評価	研修を奨励して人材育成に努めており、また、生活介護及び就労支援の充実以外にも相談窓口を充実（休日の総合相談窓口を開設）させるなどして、総合的な福祉サービスの提供を行うことができている。
施設維持に対する評価	日常の保守管理はもちろん、急遽対応が必要になった修繕等についても適切に実施できている。 （指定管理者負担となる修繕についても適切に実施できている。）
収支状況に対する評価	消費税の増税や修繕費の増加といったやむを得ない支出の増加はあるが、光熱水費を削減するなど、適正な状況を保っている。
総合評価	事業計画書に基づき、障がい者の生活や就労に関する総合的な支援を適切に行うことができている。 また、積極的な人材育成による良質な福祉サービスの提供に努めており、法人としての長年の実績と経験及び全国の支援事業者や関係機関・団体との幅広いネットワークと相まって、利用者への細やかな支援が提供できている。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施設名	加古川市立つつじ園
指定管理者	社会福祉法人 博由社
指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで
施設所管課	福祉部 障がい者支援課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	10,578	10,747	稼働率 85.7%へ減少 (H30年度：88.5%)
1日平均（人）	42.8	44.2	

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	214,969,301	197,358,564	重度障害者支援加算の取得
（うち指定管理料）	49,300,000	49,300,000	
（うち利用料金）	160,361,809	145,785,228	稼働率 88%→85%へ減少したが加算により収入増
（うちその他収入）	5,307,492	2,273,336	退職共済取崩
支出金額（円）	207,852,115	198,930,090	改修費・HP作成費用増

3 自己評価

自己評価コメント	- 虐待防止に関する取り組みの一つとして、利用者の意思を尊重した“意思決定支援”を行うことにより、豊かな生活の場を提供できた。 - 実地指導の指摘事項である「サービス管理責任者業務の整理」と「個別支援計画作成の手続き等の検証」を行い、職員周知を図った。 - 重度・強度行動障害を有する利用者に対して、人権に配慮し、個性を尊重したより専門性の高い支援の提供に努めた。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	強度行動障害支援者養成研修修了者も増加し、さらに専門性の高い支援を利用者へ提供することに努めている。また虐待防止に関する取り組みも継続して進捗している。
----------------	--

利用状況に対する評価	新規受入を行った平成 30 年度と比較し利用率は下がったが、一定の利用率を維持している。 利用率 H29 : 84.0%、H30 : 88.5%、R1 : 85.7%
自主（指定）事業に対する評価	地域からの要望が強く平成 30 年度から日中一時支援事業を実施していたが、職員数減により年度途中から休止しており、早急に人員確保等の体制を整える必要がある。
施設維持に対する評価	指定管理者負担となる修繕については適切に実施しており、利用者が快適に利用できるよう施設を維持、管理している。
収支状況に対する評価	重度障害者支援加算や経費節減によって、単年度で約 700 万円の黒字となった。
総合評価	虐待防止に向けた利用者へのサービス提供に向け、取組みは進んでおり、収支状況も上向きだが、職員数減により自主事業（日中一時支援事業）の実施が年度途中から休止しており、相談支援事業と併せて早急に人員確保等の体制を整える必要がある。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施設名	加古川夜間急病センター
指定管理者	公益財団法人東播臨海救急医療協会
指定期間	平成30年4月1日から令和3年3月31日まで
施設所管課	福祉部 健康課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
受診者数（人）	10,021	10,687	新型コロナウイルス感染症拡大による、受診控えに伴う患者減少。
後送者数（人）	412	400	12人増。

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	113,367,610	112,978,815	インフルエンザ患者減少の 為、医薬材料費は減 だったが、医事コンピ ュータの元号改修費用、 消費税の増税等で増 額となった。
（うち指定管理料）	113,367,610	112,978,815	
（うち利用料金）	0	0	
支出金額（円）	113,367,610	112,978,815	

3 自己評価

自己評価コメント	加古川夜間急病センターの診療業務において、利用者サービスの質の低下を招くことなく管理運営業務を適正に実施。
----------	---

4 施設所管課評価

運営（サービス）に対する評価	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書、年度協定書及び事業計画書に基づき適正に実施している。また、医師不足が問題となる中、安定した診療体制を維持するために医師の確保に努め、利用者からの意見や要望にも誠実に対応している。
利用状況に対する評価	年中無休で診療を実施できている。
自主（指定）事業に対する評価	実施する自主事業なし。
施設維持に対する評価	定期点検や軽微な修繕を行い、施設の維持に努めている。
収支状況に対する評価	不必要な物品の購入を控え、適切な在庫管理を行っている。また、物品購入の際は見積り合せを実施し、経費削減に努めている。

総合評価	夜間帯において救急医療を必要とする者に対し、年中無休で初期診療を実施する安定した体制が確保できている。
------	---

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施設名	加古川市立別府公民館
指定管理者	別府公民館管理運営委員会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設所管課	教育指導部 社会教育・スポーツ振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等
利用者数（人）	77, 599	88, 913	前年度より 11, 314 人の減（コロナウイルス感染症による休館、事業中止のため） 青少年△695、成人 △3, 687 高齢者 △6, 236 その他△696
利用件数（件）	4, 743	5, 147	前年度より 404 件の減（コロナウイルス感染症による休館、市主催事業による利用減のため） ※使用区分による内訳 青少年△32、成人 △112 高齢者 △296 その他 36
平均稼働率（％） （屋外除く）	35. 91	36. 29	前年度より 0. 38 ポイントの減 H30 年度 R1 年度 件数合計 4, 730 4, 319 可能数合計 13, 034 12, 026

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	23,504,352	22,667,190	
（うち指定管理料）	22,472,000	21,601,000	
（繰越金・雑入）	1,032,352	1,066,190	
支出金額（円）	21,782,614	21,591,384	

3 自己評価

自己評価コメント	様々な地域行事の課題に対し、別府地域におけるコミュニティづくりの拠点施設としての役割を積極的に果たしていると考えている。 今後も利用者の声を参考に、地域の意向や要望を今まで以上に取入れた運営を行うとともに、新たな強化として、地域のコミュニティのリーダーを育成する公民館運営を推進していきたい。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	施設の管理運営業務においては、評議員会等により利用者のニーズに応じた管理運営が概ね良好に行われていることは高く評価できる。
利用状況に対する 評価	年々利用者数及び利用件数が減少している。従前より地域住民のニーズを反映した事業展開を図られているところであるが、様々な世代が参加できる事業の充実や世代に応じたPR方法など、創意工夫により地域交流拠点としての公民館運営を推進してほしい。
自主（指定）事業 に対する評価	地域住民のニーズに合わせ、「姿勢ピラティスとストレッチ」など、新たな事業を実施したことは高く評価できる。今後も引続きニーズ把握に努め、社会の要請も精査したうえで、新たなプログラムを検討してもらいたい。
施設維持に対する 評価	仕様書に基づき適正に行われているため良好と評価する。今後も公民館利用者や地域住民と協働した施設管理を継続してもらいたい。
収支状況に対する 評価	予算の範囲内で適正に執行している。
総合評価	今後についても、地域住民の多様なニーズに応えさらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務の実施を期待している。

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和元年度)

施 設 名	加古川市立尾上公民館
指定管理者	尾上公民館運営管理委員会
指 定期 間	平成 30 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで
施設所管課	教育指導部 社会教育・スポーツ振興課

1 利用状況

指標	当年度実績	前年度実績	増減理由等									
利用者数（人）	83,233	101,310	前年度より 18,077 人減 ※使用区分による増減の内訳 青少年△5,475 人、成人△927 人 高齢者△8,588 人、その他△3,087 人									
利用件数（件）	4,413	5,045	前年度より 632 件の減 ※使用区分による増減の内訳 青少年△130 件、成人△92 件 高齢者△361 件、その他△49 件									
平均稼働率（％） （屋外除く）	28.57	30.11	前年度より 1.53 ポイントの減 <table><tr><td></td><td>30 年度</td><td>元年度</td></tr><tr><td>件数合計</td><td>5,045</td><td>4,413</td></tr><tr><td>可能数合計</td><td>16,758</td><td>15,444</td></tr></table>		30 年度	元年度	件数合計	5,045	4,413	可能数合計	16,758	15,444
	30 年度	元年度										
件数合計	5,045	4,413										
可能数合計	16,758	15,444										

2 収支の状況

科目	当年度実績	前年度実績	増減理由等
収入金額（円）	27,681,301	27,113,775	
（うち指定管理料）	20,899,000	20,171,000	
（繰越金・雑入）	6,782,301	6,942,775	
支出金額（円）	20,663,909	20,436,791	

3 自己評価

自己評価コメント	指定管理を受託して 5 年が経過し、町内会をはじめとした地域の方々の協力を得る中で、一応の成果が得られたものと考えている。 会計面にあつては、経営面での努力により、十分な対応ができる安定的な運営ができた。 事業面においては、指定管理によるメリットである地域ニーズに対する柔軟的な対応により、多様な自主事業を実施し、地域の生涯学習施設としての役割はある程度果たせたものと考えている。ただし、地域活動の拠点としての役割については、既存の地域団体の弱体化等もあり、今後とも町内会連合会をはじめとした地域の各種団体等との連携を深める中で、さらなる取り組みの必要性を実感している。
----------	--

4 施設所管課評価

運営（サービス） に対する評価	施設の管理運営業務においては、運営推進委員会やアンケート等により利用者のニーズに応じた管理運営が概ね良好に行われていることは高く評価できる。
利用状況に対する 評価	利用者数及び利用件数が減少している。従前より地域住民のニーズを反映した事業展開や広報を図られているところであるが、様々な世代が参加できる事業の充実や世代に応じたPR方法など、創意工夫により地域交流拠点としての公民館運営を推進してほしい。
自主（指定）事業 に対する評価	地域住民のニーズに合わせ、「親子でアイシングクッキー」など、新たな事業を実施したことは高く評価できる。今後も引続きニーズ把握に努め、社会の要請も精査したうえで、新たなプログラムを検討してもらいたい。
施設維持に対する 評価	仕様書に基づき適正に行われているため良好と評価する。今後も公民館利用者や地域住民と協働した施設管理を継続してもらいたい。
収支状況に対する 評価	予算の範囲内で適正に執行している。
総合評価	今後についても、地域住民の多様なニーズに応えさらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務の実施を期待している。